



H.Suga

THE RADIO NIKKEI SHO

第74回 ラジオNIKKEI賞 (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円
付加賞 490,000円 140,000円 70,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳、2024.6.22以降2025.6.22まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2025.6.29 福島 晴・良 芝1800m (国産) 特種

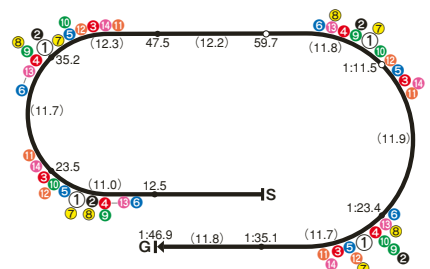
着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	①	エキサイトバイオ	牡3	53	荻野 極	1:46.9	7-8-7-7	34.8	472(-6)	7.6④	今野貞一(栗東)	101
2	⑤	センツブラッド	牡3	56	菅原明良	1/2	6-5-4-4	35.2	460(±0)	5.7②	斎藤崇史(栗東)	106
3	⑦	インバクトシー	牡3	53	横山琉人	クビ	7-7-7-4	35.0	526(+12)	14.0⑨	大竹正博(美浦)	99
4	⑧	ビーオンサカパー	牡3	55	田辺裕信	1/2	14-14-14-14	34.4	472(±0)	8.1⑥	伊藤圭三(美浦)	102
5	⑭	ショウナンマクベス	牡3	54	津村明秀	クビ	2-2-2-2	35.6	482(+2)	26.6⑩	武市康男(美浦)	
6	⑩	トレスフィール	牡3	55	横山典弘	アタマ	1-1-1-1	35.7	472(+4)	5.0①	稲垣幸雄(美浦)	
7	③	モティスフォント	牡3	54	Ｃルメール	クビ	11-10-9-8	35.0	490(-4)	8.1⑤	田村康仁(美浦)	
8	③	スナークピカソ	牡3	53	小沢大仁	1	3-3-3-3	35.8	466(+2)	15.1⑨	高橋一哉(栗東)	
9	④	レーヴブリリアント	牡3	54	舟山瑠泉	3/4	11-10-11-8	35.2	458(+10)	31.3⑪	田中博康(美浦)	
10	⑫	バズアップビート	牡3	55	戸崎圭太	クビ	4-4-5-4	35.7	506(-2)	7.4③	友道康夫(栗東)	
11	②	フクノブルーレイク	牡3	57	松岡正海	3/2	9-8-9-8	35.9	450(-6)	8.8⑦	竹内正洋(美浦)	
12	⑥	チョングク	牡3	52	丸田恭介	アタマ	13-13-12-12	35.7	476(±0)	122.1⑫	南田真知雄(美浦)	
13	⑧	エーオーキング	牡3	55	大野拓弥	クビ	9-10-12-12	35.7	454(+6)	31.8⑩	久保田貴士(美浦)	
14	⑭	アタラシイカドデニ	牡3	53	内田博幸	2	4-5-6-8	36.7	516(+10)	113.5⑬	上原博之(美浦)	

単勝①760円(4[△]※) 複勝①280円(6[△]※) ⑤200円(1[△]※) ⑦430円(9[△]※) 枠連①-④1,760円(7[△]※)

馬連①-⑤2,700円(9[△]※) ワイド①-⑥920円(6[△]※) ①-⑦1,590円(23[△]※) ⑤-⑦1,480円(21[△]※)

馬単①-⑤5,510円(18[△]※) 3連複①-⑤70,520円(40[△]※) 3連単①-⑤765,480円(195[△]※)

5重勝①③⑧③①8,335,070円(55※) 対象競走：小倉10R/福島10R/函館11R/小倉11R/福島11R



エキサイトバイオ *Excite Bio*

牡 鹿毛 2022.3.10生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・バイオ㈱ 栗東・今野貞一厩舎
馬名意味・興奮する+冠名

レイデオロ 鹿毛 2014	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo
		マンファスIRE
	ラドラーダ 青鹿毛 2006	シンボリクリスエスUSA
		レディプロンドUSA
アニメイトバイオ 栗毛 2007	ゼンノプロロイ 黒鹿毛 2000	サンデーサイレンスUSA
		ローミンレイチェルUSA
	レーゲンボーゲン 栗毛 2002	フレンチデピュティUSA
		レインボーファスト

5代までのインブリード：Mr.Prospector S4×S5×M5

INTERVIEW

足立稔 厩舎長（ノーザンファーム空港）

ゴール前の末脚には驚かされました

騎乗馴致を開始した頃は細い印象がありましたが、乗り味だけでなく気性もよかったので、いいところまではいけるのではないかと期待していた馬です。斤量には恵まれた印象があったので、重賞初挑戦ながらチャンスはあると思っていましたが、それでもゴール前で狭いところを縫ってきた末脚には驚かされました。秋競馬でのさらなる飛躍も楽しみにしています。

S.Suzuki



レイデオロ産駒の本馬は2歳10月のデビューから5カ月余りかけ、5戦目に初勝利を挙げると、続くあす賞でもクビ差の2着に食い下がった。上り調子の半面、持ち時計を含めて実績面の強調材料は乏しかったものの、ハンデ差も見越して重賞に矛先を向けた陣営の選択がズバリと的中。前々でしごとさを活かすスタイルだった前2戦とは一転、ソツのない運びで鋭い決め手を引き出された1勝馬が、開業14年目の今野貞一調教師ともども、嬉しいJRA重賞初制覇を果たした。

ハンデ戦に新装され、新興勢力の争いという色彩が濃くなった2006年以降も、重賞連対歴を持たない1勝馬の優勝例はなかったラジオNIKKEI賞。しかしひと桁の単勝オッズを記録した馬が7頭を数え、例年以上の混戦ムードに包まれた今年は、そんなジंकスが覆された。2走前に未勝利戦を勝ち上がったばかり、オープン戦の出走歴もなかった1勝馬エキサイトバイオが、実績上位の面々を一蹴。初夏の福島開催の開幕を飾るレースの歴史に新たな彩りを加えた。東京・芝1800mの未勝利、1勝クラス戦を逃げの戦法で連勝中、1番人気に支持されたトレサフィールが、小回りに舞台が替わったこの日もスナリと先制し、平均的なラップを刻んで風を切る。白百合Sの3着馬バズアップビートは4番手につけ、同2着のセンツブラッドも直後のインを追走。前のポジションで流れに乗った1〜3番人気の3頭に対し、エキサイトバイオの荻野極騎手は中団のインでじつくりと末脚を温存して進んだ。4コーナーに差し掛かると、2番手のショウナンマクベスが案外手応えで前に並びかけたが、トレサフィールもしぶとく応戦。さらに直線半ばでは激しく競り合う2頭の間を割って伸びたセンツブラッドが先頭に躍り出る。とはいえ、前からさほど離されずに内々を回り、直線に向いて3頭の外へ持ち出されたエキサイトバイオがそこへ強襲。センツブラッドを一気にかわしてゴールに飛び込んだ。

実績上位の面々を一蹴し重賞初制覇

父レイデオロ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 詳細はP.6参照

母アニメイトバイオ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央27戦3勝(ローズS^G_{II}、サフラン賞、秋華賞^G_I2着、阪神ジュベナイルフィリーズJ^u_{II}2着、府中牝馬S^G_{III}2着、京王杯2歳S^o_{II}2着、アネモネS^o_{II}2着、クイーンS^G_{III}3着、七夕賞^G_{III}3着)(14 牝父キングズベストUSA)

パイオニアバイオ(15 牝父ルーラーシップ)中央18戦1勝(フローラS^G_{II}2着)(16 牝父キングズベストUSA)

ビッククインバイオ(17 牝父キングズベストUSA)中央20戦4勝(奥多摩S、相模湖特別、春菜賞、アルテミスS^G_{III}3着、新潟2歳S^G_{III}3着)

(18 牝父ノヴェリストIRE)

アニマートバイオ(19 騾父ロードカナロア)中央1戦0勝、地方3戦0勝

ロイヤルバイオ(20 牝父ハービンジャーGB)中央2戦0勝

クイックバイオ(21 牝父ブリックスアンドモルタルUSA)中央13戦2勝(ききょうS^o_{II})

エキサイトバイオ 本馬(22 牝父レイデオロ)中央7戦2勝(ラジオNIKKEI賞^G_{III})獲得総賞金54,624,000円

(23 流産)

(24 牝父ブリックスアンドモルタルUSA)

(25 牝父シスキンUSA)

祖母レーゲンボーゲン

北海道門別町 千葉銀田牧場生産 中央1勝。23年用途変更

アニメイトバイオ(07 前出)

ホームマンフリップ(08 牝父フジキセキ)中央1勝(ファンタジーS^G_{III}2着)、メイショウウズマサ(バレンタインS^o_{II}、プロキオンS^G_{III}3着)の母

フォントロイ(09 牝父ゼンノプロロイ)中央3勝

ドラゴンレジェンド(10 牝父ステイゴールド)中央3勝(恵山特別)

レインボーソング(12 牝父ゼンノプロロイ)中央3勝(ポプラ特別)

レインボーライン(13 牝父ステイゴールド)中央5勝(天皇賞(春)^G_I、阪神大賞典^G_{II}、アーリントンC^G_{III}、菊花賞^G_I2着、NHKマイルC^G_I3着、天皇賞(秋)^G_I3着、札幌記念^G_{III}3着)、種牡馬

曾祖母レインボーファスト

北海道門別町 千葉銀田牧場生産 地方2勝。13年用途変更、エースインザース(兵庫ジュニアグランプリ^G_{III}、東風S^o_{II}、全日本2歳優駿^G_I2着)の母